議員提出議案第２号

高額療養費自己負担限度額引き上げの撤回を求める意見書

上記の議案を提出します。

令和８年３月２３日

中野区議会議長　森　たかゆき　殿

提出者　中野区議会議員　　浦野　さとみ
武田　やよい
広川　まさのり
いさ　哲郎
羽鳥　だいすけ

高額療養費自己負担限度額引き上げの撤回を求める意見書

政府は２０２５年１２月２４日、高額療養費制度の自己負担限度額を引き上げることを決めました。同制度は、がんなどで多額の医療費がかかっても、１か月に支払う自己負担に上限を設け、過大な負担とならないようにする制度です。

２０２６年８月と２０２７年８月に２段階で引き上げ、最大３８％の負担増となる見込みです。全ての所得区分が対象で、特に年収３７０万円から７７０万円の中所得層の負担増の影響が大きいとされています。

２年間で２，４５０億円の給付費削減を見込んでいますが、その中でも、限度額引き上げに伴う受診控えによって１，０７０億円の削減を見込んでいるのが大きな問題です。どんな人でもけがや病気に見舞われるリスクを抱えています。命に関わる疾患から患者を守るはずの制度で、受診控えを前提とした給付費の削減を見込むのは本末転倒です。

よって、中野区議会は、国会及び政府に対し、高額療養費自己負担限度額引き上げの撤回を強く求めます。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出します。

年　　月　　日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣　　　あて
厚生労働大臣

中野区議会議長名